

キャブレター・スライドピストンの貼り付き

走り出しは調子が良いのに渋滞路に入るとスロットルが重くなり、スロットルを戻してもエンジン回転が落ちにくい、いちど空吹かしするとようやくアイドルリングに落ち着く。このような症状は貼り付き現象と呼ばれています。

4ストロークエンジンは負圧が強く、特に低回転域ではスプリングの張力が弱くなっているためスライドピストン(以下ピストン)を押し下げようとする力より、強い負圧でピストンが燃焼室側に引っ張られる力が大きくなる際に発生します。一般的には摩耗したピストンを交換すると改善しそうですが旧型BMWの場合はピストン磨耗が主な原因でないため交換しても効果がありません。

断熱性の乏しいフランジ式はキャブ本体に熱を伝えやすく、前時代的なレイアウトのサイドに設けられたフロント室のため熱の伝わり方が均一でなく、キャブ本体の肉厚も偏りがあるため歪みが発生します。外気温の高い夏季や渋滞路走行で熱による歪みが大きくなるため貼り付きます。

シリンダーヘッド接続部のフランジ面も歪みが顕著に表れる部位です。

強い負圧の発生するアイドル・低速走行中に二次エア吸入により希薄燃焼状態になりキャブ本体も温度が上昇蓄積し熱歪みを促進させます。同じような走行距離・条件で使用されてもケアされているかどうかでキャブ本体の寿命はもちろんエンジンのライフサイクルに大きく影響します。

これまでアッセンブリーで交換する以外に有効な解決策がありませんでしたがクリメカでは金属加工エキスパートの協力のもとキャブ・シリンダーのポーリング、フランジ面の平滑化、ピストンのコーティングを体系化し実施したところ大変よい結果が得られたのでご紹介いたします。

キャブ・リペアコース (スライダー貼り付き対策)

TWIN ¥16,000 (SINGLE 可) 単体持込み 返送送料・消費税別

★コース内容

1. シリンダー・ボア加工 :歪みを除去
2. フランジ再研磨 平面化 :二次エア侵入を防止しアイドル不安定解消、加熱防止
3. ピストン・コーティング :固体潤滑で摺動抵抗の低減、気密性アップ

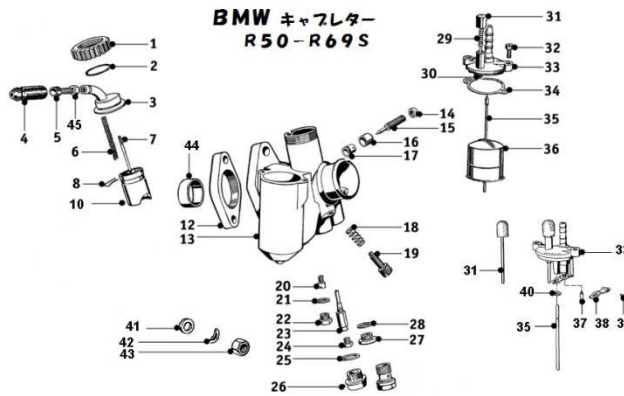
★オプション

1. スライド・ピストン :ピストンの磨耗が激しく再利用できない場合
2. インシュレーター :劣化が激しい場合
3. M8フラットUナット・ワッシャーセット :フランジ部の締め付け過ぎを回避 緩み止め
4. 下部ガスケットセット :特製ガスケットで燃料滲みを解消

Spezialist fur EDEL BOXER in Chiba seit 1997

HOME PAGE = <http://crimeca.jp/>

キャブレター・リペアコース R50-69S



シリンダーボア



フランジ加工経過 70%→90%



施行前



コーティング処理

Spezialist für EDEL BOXER in Chiba seit 1997

HOME PAGE = <http://crimeca.jp/>

お客様の声

*** 中古で購入した R50** ですが、試乗ではわからなかったのですがツーリングに出かけて3時間ぐらい高速を走り一般道に出たら、キャブが戻らなくなってしまったのです！ とにかく信号に引っかからないようにノロノロと帰りましたが、えらい苦勞をさせられました！冷えればなんともないのですが、キャブが熱くなるともうダメです！自分でピストンを磨いたりしてみましたが無効ではありません！どこのバイク屋でもキャブ交換を言われましたが、10万を超える出費を考えると躊躇していましたが、クリメカでのキャブのオーバーホールを受けたところ今までの症状がウソのように消えてしまいました！十分の一ぐらいの出費で済んで、すごく得した気分です！

2015年9月施行.....**東京 Kさま**

*** レストア済みの R60** を購入しました。エンジンはものすごく調子がいいのですが、渋滞路や高速を走るとアイドリングが高くなり、キャブの戻りも渋くなるような感じでした。レストアしたエンジンが調子がいいだけに、とても気になっていた時、クリメカのキャブオーバーホールを知り値段が安かったのでダメモトと思ってやってもらいました。結果を言うと全開で何時間走っても、アイドリングはまったく高くなり、700回転ぐらいでスコスコと安定して回っています。それほど期待していなかっただけにコストパフォーマンスの高さにびっくりしています！

2016年1月施行.....**神奈川 Mさま**

Spezialist fur EDEL BOXER in Chiba seit 1997

HOME PAGE = <http://crimeca.jp/>